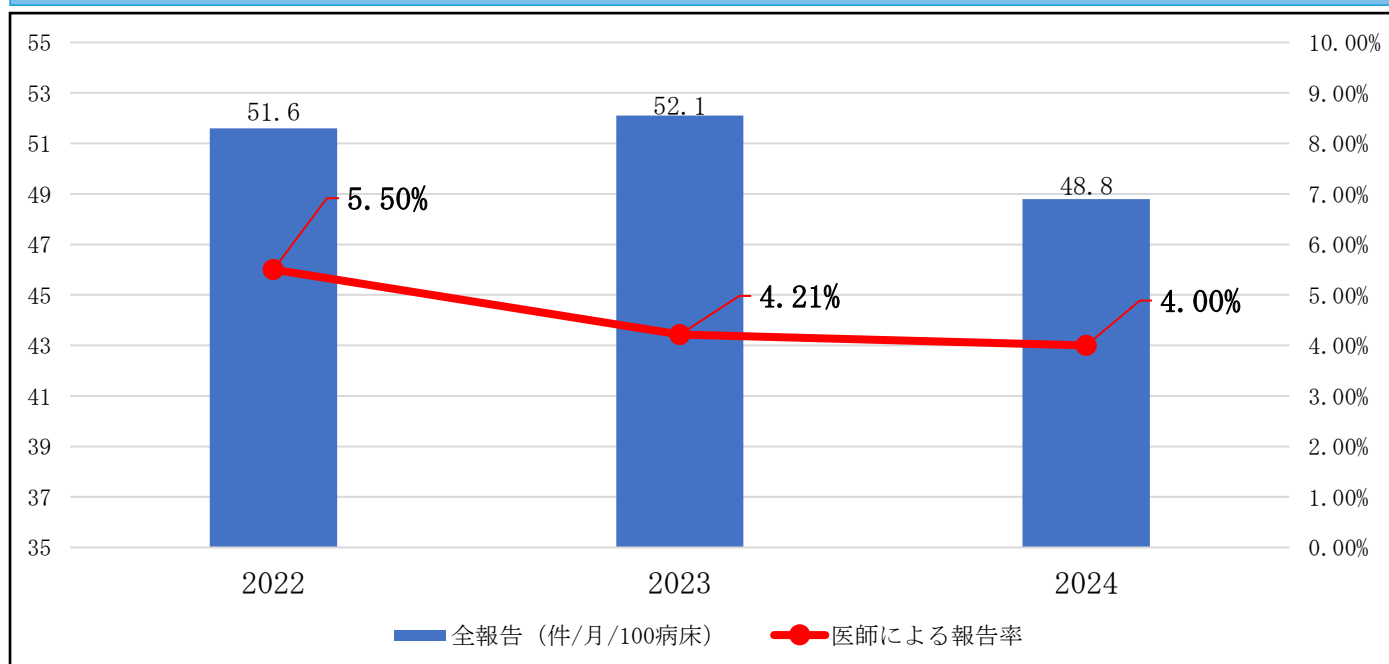


□インシデント・アクシデント報告（医師による報告）

インシデント・アクシデント報告（医師による報告）



➤ 指標の説明

身体への侵襲を伴う医療行為には常にリスクがあり、発生を防ぐことは医療安全の基本です。万一事象が生じた場合には、原因を調べ再発防止策を講じる必要があります。そのために欠かせないのが、インシデント・アクシデントの確実な報告です。報告件数の多さは、医療現場の質の低さを示すものではなく、安全意識の高さや組織の学習姿勢を示す指標となります。特に一般に少ないとされる医師からの報告が多い場合、その組織は医師も含め職員全体が医療安全に積極的に取り組んでいることを示しています。

➤ 定義

【全報告（件/月/100 病床）】

分子：総報告件数÷許可病床数×100 分母：年間月数（12 ヶ月）

【医師による報告】

分子：医師の報告件数 分母：総報告件数

➤ 評価

100 床あたりの月間報告件数は、2023 年度の 52.1 件から 2024 年度には 48.8 件に減少しました。医師の医療安全への関与を示す全報告数に占める割合も、2023 年度の 4.21%から 2024 年度には 4.0%へと低下しています。日本病院会の 2023 年度集計では、平均は 45.4 件／月／100 床、医師による報告割合は 4.5%であり、当院においても更なる向上が求められます。